

改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略実施状況一覧

資料4

基本目標Ⅰ 安全で安心して暮らせるまち (1) ほっとわらび! 安全安心プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 実績値 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 | |
|-------------------------|--|----------------------|---|-------|--------------|-------|--------------|--------------|------------------|
| | 指標 | 平成29年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 担当課 | |
| 数値目標 | 家庭等における災害への備え実施率(市民意識調査) | 81.0% | 81.7% | | | | 90% | 安全安心推進課 | |
| | 犯罪発生件数 | 871件 | 692件 | | | | 平成29年から10%削減 | 安全安心推進課 | |
| ①自助・共助・公助の連携を高めた防災都市づくり | KPI | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | KPI | 避難所運営訓練の実施校の割合 | 40.0% | 60.0% | | | | 100% | 安全安心推進課 |
| | 具体的事業 | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | 担当課 |
| | | 自主防災組織への支援と災害応急対策の強化 | 避難所運営協議会を設置済みの中央小学校に加え、各・小中学校へ同協議会の設置拡充を推進する。なお、令和3年度に協議会未設置の小中学校を対象に合同協議会を開催予定。 | | | | | | 安全安心推進課 |
| | | 上下水道の耐震化と長寿命化促進 | (水道) ・管路更新計画(平成29年度改訂版 平成30年3月策定)に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進めている。令和2年度は2,183mの管路耐震化を実施した結果、基幹管路の耐震適合率は令和2年度末時点で95.9%に上昇した。 (下水道) ・下水道管路長寿命化基本計画(平成28年度策定)に基づき、令和元年度から第1期分の改築工事に着手(令和4年度完了見込み)。第2期分は、令和2年度に詳細計画を策定し、令和3年度に翌年以降の工事に向けた実施設計を予定。 | | | | | | 下水道課 水道部維持管理課 |
| | | 防災拠点となる新庁舎の整備 | 令和2年4月に新庁舎建設基本設計を策定、令和3年2月に実施設計概要を策定した。今後は令和3年7月から新庁舎建設工事に着手し、令和5年秋に新庁舎供用開始予定。なお、旧庁舎については、令和2年10月に仮設庁舎等への移転が完了し、12月に解体工事に着手、令和3年6月に解体工事完了。 | | | | | | 庁舎建設室 |
| 小中学校への災害時用応急給水栓の設置 | 令和2年度は、北小学校、第一中学校に災害時用応急給水栓を設置(令和元年度分と合わせて計6箇所に設置済み) | | | | | | 水道部維持管理課 | | |
| ②犯罪のない明るい地域づくり | KPI | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | KPI | 自主防犯組織を含む防犯ボランティア団体数 | 47団体 | 47団体 | | | | 52団体 | 安全安心推進課 |
| ②犯罪のない明るい地域づくり | 具体的事業 | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | 担当課 |
| | | 第3期防犯計画の着実な推進 | 市内全域にある140台の防犯カメラについて、警察等に対して映像提供を行うなど犯罪被害防止や犯罪抑止力の向上に努めた。また、振り込め詐欺防止のため、65歳以上の高齢者を対象に通話録音装置の無償貸与事業を実施し、令和2年度は20件の設置を行った。なお、同事業については、より防犯機能が充実した通話録音機能を有する電話機の購入費補助事業への組み替えを検討(令和3年7月より事業実施)。 | | | | | | 安全安心推進課 |

基本目標Ⅱ 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち (2) キラリわらび！子ども未来プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | | 現状値 | | 実績値 | | 目標値 | | 担当課 |
|-------------------------|---|---|---------------|-------|-------|-------|-------|--------------|----------------|
| | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | |
| 出生数 | 569人 | 567人 | | | | | 650人 | 市民課 | |
| 保育園待機児童数 | 10人 (各年4月1日現在) | 2人 | | | | | 0人 | 児童福祉課 | |
| ①切れ目のない支援による子育てしたいまちづくり | K P I | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | | 子育てしやすいと思う市民の割合(市民意識調査) | 44.1% | 52.5% | | | | 50% | 児童福祉課 |
| | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 子育てしたいまち情報発信事業 | 令和2年秋に子育てしたいまち情報冊子を5,000部増刷(2年分。前回分から内容更新)。市内公共施設に配架したほか、宅建協会南彩支部(50社以上)に定期的に配架依頼をしている。 | | | | | | | 秘書広報課 |
| | 子育て包括支援センター事業の充実 | 子育て世代包括支援センターを保健センター内に設置(令和元年6月)。妊娠届出時の面接等により、妊娠状況についての心配事などをアセスメントするとともに、継続的な支援が必要な場合、支援プランの作成を行った(令和2年度アセスメント対象者:647人、実施者:586人、支援プラン作成者:35人)。また、子育て期の様々な悩みや疑問に対する個別相談事業「子育て相談広場」を実施した。 | | | | | | | 保健センター |
| 子ども家庭総合支援拠点の整備 | 令和3年4月、子ども家庭総合支援拠点を児童福祉課内に設置。 | | | | | | | 児童福祉課 | |
| こども医療費無料化の拡大 | 令和4年10月診療分から、特に経済的負担の大きい入院について、医療費の一部負担金等の支給年齢を18歳までに拡大することで、子育てに伴う経済的な負担の更なる軽減を図る。令和3年度はそのためのシステム改修を実施予定。 | | | | | | | 児童福祉課 | |
| ②待機児童ゼロを目指した保育の充実 | K P I | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | | 認可保育園数 | 13園 | 14園 | | | | 15園 | 児童福祉課 |
| | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 保育園の更なる増設 | 令和2年4月に「蕨錦町ゆたか保育園」を開設。今後についても、子どもの数や保育ニーズを見極め、認可保育園を整備するかどうか検討。 | | | | | | | 児童福祉課 |
| 学童保育室の更なる増設 | 令和2年4月に「キッズクラブ塚越」、令和3年4月に「キッズクラブ北町」を開設。今後についても、子どもの数や保育ニーズを見極め、学童保育室を整備予定。 | | | | | | | 児童福祉課 | |
| ③地域力を活かした「わらびっ子」の育成 | K P I | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | | 教育センターにおける教職員研修の実施回数 | 13回 | 80回 | | | | 90回 | 学校教育課 |
| | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 教育センターの機能充実 | 令和2年度中に教育センターに学校と同じICT環境として、無線LAN、研修生用端末、指導者用端末、大型TV、プロジェクター等を整備。 | | | | | | | 学校教育課 |
| | コミュニティスクール事業の展開 | 令和元年度に塚越地区の東小学校・塚越小学校・東中学校の3校による学校運営協議会を発足し、PTAや学校応援団などの代表者らの参画を得ながら、学校運営・経営に取り組むコミュニティ・スクールの活動を推進している。令和2年度については、学校運営協議会を4回開催したほか、児童・生徒の学校生活をサポートして下さる方々を登録するための人材バンクの作成に係る準備を進めた(人材バンクについては、令和3年度に運用開始予定) | | | | | | | 学校教育課 |
| | 学校ICTの整備など学習環境の充実 | 令和2年度に、児童・生徒一人一台の端末整備を実施するとともに、全小・中学校において校内無線LAN工事を実施。授業等におけるタブレット端末の効果的な活用などを通じて児童・生徒のICT活用能力の向上を図った。 | | | | | | | 教育総務課 学校教育課 |
| 学校体育館へのエアコン設置 | 令和3年度に中学校3校の設置工事を実施予定。 | | | | | | | 教育総務課 | |
| 英語教育の充実 | ALTの小中学校全校配置については令和2年4月に完了。また、中学校2、3年生を対象とした、英語4技能テスト、教員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習等を組み合わせて行うGTECを令和3年度から公費負担で実施予定。 | | | | | | | 学校教育課 | |

基本目標Ⅲ みんなにわたたく健康に生活できるまち (3) イキイキわらび! 健康密度日本プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|--|
| | 健康に気配りしている市民(成人)の割合(市民意識調査) | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| ①協働による健康まちづくりの推進 | K | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 |
| | P | 健康長寿厥市モデル事業参加者数 | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| | I | | 210人 | 506人 | | | 500人 | 保健センター |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | 健康長寿厥市モデル事業の推進 | 令和元年度に歩数計読み取り機(タブレット)を市内に8か所設置した。また、令和2年度は、埼玉県コバトン健康マイレージ登録者に対して2か月の間で1日平均8,000歩以上歩いた方に対する抽選会を開催し、事業の周知と市民の健康づくりの定着を目指した。令和2年度末時点で、歩数計とスマートフォンの登録者合わせて506人となった。 | | | | | 保健センター |
| | 具体的事業 | 介護予防事業の実施 | 令和2年度は、外出自粛によるフレイル予防のため、自宅でできる介護予防運動の動画配信や、口腔機能・栄養・社会参加にも着目したリーフレットを作成し、2か月に1回のペースで、いきいき百歳体操参加者を中心に配布した。住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)の立ち上げと継続を支援(一部休止あり)。介護予防サポーター養成講座修了者は累計181人、「いきいき百歳体操」活動グループは累計19団体。 | | | | | 介護保険室 |
| ②市立病院の充実と健康診査・検診の促進 | K | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 |
| | P | 特定健康診査の受診率 | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| | I | | 44.4% | 39.0% | | | 60% | 医療保険課 |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | 「市立病院将来構想」に基づく市立病院の充実・発展 | 施設整備の基本方針について、施設整備検討委員会を設置し検討を進めている(令和2年度は3回開催)。また、医療体制の維持及び充実のため常勤医師の確保に努めており、令和2年5月に消化器内科医師、同年9月に整形外科医師について新たに採用した。 | | | | | 市立病院事務局庶務課 |
| | 具体的事業 | 特定健康診査等の受診促進 | 受診率向上を目指して以下の取り組みを実施した。 ①効果的な広報啓発活動 ②受診勧奨通知の送付 ③SMSによる受診勧奨 ④早期受診キャンペーン ⑤本人や医療機関からの健診結果の提供 ⑥39歳の人への特定健診事前案内通知 | | | | | 医療保険課 |
| ③だれもが自分らしくイキイキと暮らし、活躍できる環境づくり | K | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 |
| | P | 就労や地域等で活動しているシニアの割合(市民意識調査) | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| | I | | 48.0% | 59.0% | | | 55% | 関係課 |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築 | 地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を縮小)。 ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会、在宅医療講演会、医療・介護連携ネットワーク会議を継続実施(一部休止あり)。 ②認知症地域支援推進員の選任、認知症サポーター養成講座の実施、認知症カフェを5か所運営、認知症初期集中支援チームの設置を継続実施(チーム実働は、令和元年度1件、令和2年度2件)。 ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを選任。地域・福祉・ボランティア関係者による厥市地域支え合い推進協議会や地域住民が地域課題を話し合う座談会、ボランティア活動について啓発する生活支援サポーター養成講座を継続実施(一部休止あり。担い手養成講座修了者は累計68人)。 ④介護予防事業として、住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)の立ち上げと継続を支援(一部休止あり)。介護予防サポーター養成講座修了者は累計181人、「いきいき百歳体操」活動グループは累計19団体)。 ⑤ケアマネジャー及びサービス事業所による高齢者ケア向上を支援する自立支援型地域ケア会議を月1回実施(一部休止あり)。 | | | | | 介護保険室 |
| | 具体的事業 | 障害者入所施設の広域的検討と暮らしの場確保策の検討 | 入所施設やグループホームの整備については、川口市・戸田市との3市障害福祉連絡会議にて情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行い、国庫補助金の確保については、令和元年7月に埼玉県へ要望書を提出した。引き続きニーズの把握と様々な情報収集を行う。 | | | | | 福祉総務課 |
| | 具体的事業 | 手話言語条例の制定 | 厥市聴覚障害者協会、厥手話サークル及び厥市手話通訳者派遣事務所とともに、令和元年度より手話言語条例制定準備会を計4回開催。条例制定に向けて準備を進め、令和3年3月23日に「厥市手話言語条例」制定、令和3年4月1日に施行。 | | | | | 福祉総務課 |
| | 具体的事業 | シニアの社会参加と就労支援 | 厥市シルバー人材センターに対して運営費等の補助を実施するなど高齢者の生きがいづくの場の確保や就労支援等の促進を図った。なお、令和2年度の会員数は、目標400人に対して368人(前年比17人増)となった。また、就労希望者に対して、国や県等の就労関連情報の提供や相談窓口の案内を行った。 | | | | | 商工生活室 市民活動推進室 介護保険室 生涯学習スポーツ課 |

基本目標Ⅳ にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち (4) ワクワクわらび! にぎわい創出プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 | |
|-------------------------|---------------------------------|---|---|--------------------|-------|-------|-------|---------|--------------------|------------------|
| | 現状値 | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | |
| | 中心市街地における休日の歩行者・自転車の通行量 | | 38,627人 | 未実施 | | | | 43,585人 | 商工生活室 | |
| ① 蕨ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開 | K P I | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 |
| | | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | |
| | | 蕨ブランド認定品の数 | 5件(累計) | 10件(累計) | | | | 15件(累計) | 商工生活室 | |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | 蕨ブランドの更なる活用・展開 | 蕨ブランド認定品について、認定期間の3年を迎えたことから、令和元年度に認定品の募集・審査を行い、5事業者5品を新たな蕨ブランドとして認定するとともに、既存の認定品についても更新し、蕨ブランド認定品は計10品となった。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止となり、市内の祭りや市外の展示会「彩の国ビジネスアリーナ」へ出展ができなかったが、城北信用金庫蕨支店の協力の下、蕨ブランド認定品の展示を行った。 | | | | | | | 商工生活室 |
| | ホームページ等の活用による魅力発信とシティプロモーションの推進 | だれもが利用しやすいまちの魅力を発信するホームページを目指して、リニューアルを実施(令和2年1月から運用開始)。リニューアルしたホームページにより、カラーセル表示や特設ページ、動画を活用した情報発信を実施。リニューアル前と比較し、トップページへのアクセス数が前年比2.5倍になるとともに、利用者からのアンケート評価も向上した。更に、新型コロナウイルス関連情報など特設ページを開設。 | | | | | | | 秘書広報課 政策企画室 | |
| | 河鍋暁斎記念美術館と連携したまちづくりの推進 | 河鍋暁斎の更なる魅力発信を目的に、引き続き、広報紙やケーブルテレビで展示会の内容を紹介したほか、令和2年6月に歴史民俗資料館内に河鍋暁斎コーナーを設置した。また、令和2年の新年あいさつ交歓会から河鍋暁斎の絵(十二支)が施された酒器を記念品として配布。令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、あいさつ交歓会が中止となったため、酒器の販売を実施(192個販売)。 | | | | | | | 秘書広報課 関係課 | |
| ② 蕨を元気に! 中心市街地の活性化 | K P I | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 |
| | | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | |
| | | サブリース事業による出店、または空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した件数 | ※新規事業のため現状値はありません | 2件 (令和元年度からの累計) | | | | 15件(累計) | 商工生活室 | |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | 中心市街地活性化基本計画の着実な推進 | 計画に位置付けた全42事業のうち、31事業が実施済みまたは実施中であり、進捗率は約73%。蕨市にぎわいまちづくり連合会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた同連合会の支援による各種企画(知って得するワンポイントゼミナール、つかごし朝マルシェ、柳橋公園活用事業等)は延期となったが、代わりに、WINKと連携してテレビ版「蕨周遊ツアー」の放映や、SNSによるテイクアウト店舗の紹介など情報発信に特化した事業を展開した。また、埼玉県物産観光協会と連携し、Go to トラベルの適用を受けて「蕨市にぎわいまちづくりツアー」を企画したが、延期となっている。なお、蕨市中心市街地活性化基本計画は、計画期間を一年延長したものの、同感染症の影響で各種事業が止まっていることから、令和3年度まで更に1年延長し、現行計画を推進するとともに、蕨商工会議所等と現行計画の検証を行い、新たなプランの策定に取り組む。 | | | | | | | 商工生活室 |
| | 蕨の玄関口にふさわしい駅西口再開発の推進 | これまで、事業計画の作成や組合設立に関する権利者の同意取得など、組合設立認可(事業認可)に向けた準備組合の活動に対し、必要な協議、支援を行い、令和2年8月に埼玉県から組合設立認可を受けた。今後も引き続き、権利変換計画認可申請及び工事着工に向けた組合の活動に対し、必要な協議、支援を行い、着実に事業を推進する。 | | | | | | | まちづくり推進室 | |
| | 関係機関との連携による空き店舗対策の推進 | 埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組み、サブリースにより、「WARABI SELECT SHOP」が令和元年10月にオープンしたほか、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、「貸店舗見学ツアー」の実施、空き店舗有効活用事業の認定店舗の拡大など、同制度の活用を促進する体制を整えた。令和2年度は、空き店舗有効活用事業を活用して、1件が開業し、出店数の累計は2件となった。 | | | | | | | 商工生活室 | |
| | 商店リニューアル助成制度の創設 | 既存店舗の設備更新の負担を減らすため、改装費等の一部を補助するとともに、店舗改装の際、専門家を派遣しアドバイス等を行うことで、にぎわいのある魅力的な店舗へのリニューアルを支援する「商店リニューアル助成制度」の創設に向け、蕨商工会議所と協議しながら検討を進める。 | | | | | | | 商工生活室 | |
| ③ 人材を育て活かす学びとスポーツの推進 | K P I | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 |
| | | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | |
| | | 市民音楽祭の参加者数 | 2,496人 | 112人 | | | | 4,000人 | 生涯学習スポーツ課 | |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | | 担当課 |
| | 具体的事業 | 音楽によるまちづくりの推進 | 蕨市民音楽祭については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信等により3イベントを実施(令和元年度は13会場21イベント・参加者約4,300人)。小・中学校への音楽家派遣については、令和2年度は5校7事業(令和元年度は9校9事業)への派遣を行い、子どもたちが良質な音楽に触れ、音楽に親しむ機会を提供した。今後も、多くの方が参加できる多様な音楽イベントを開催していくとともに、公式SNS等を通じた情報発信を定期的に更新していくことで、より広く当事業を周知し、まちの賑わいを創出するよう努める。 | | | | | | | 生涯学習スポーツ課 関係課 |
| | オリンピック・パラリンピックへの気運醸成と生涯スポーツの浸透 | (オリンピック・パラリンピックへの気運醸成) ・東京2020オリ・パラ大会については、令和3年(2021年)に延期となったが、聖火リレーや聖火ピジット、関係自治体チケットの有償譲渡等の関連事業について、大会組織委員会や埼玉県等と連携しながら準備を進めた。また、同大会の開催に向けた気運醸成を図るため、埼玉県主催による聖火リレートーチの巡回展示(令和2年11月13日・蕨市役所仮庁舎)を行った。 (生涯スポーツの浸透) ・スポーツ施設の利用を充実させるため、公共スポーツ施設予約システムを導入しており、住んでいる地域に限らず屋外スポーツ施設や市民体育館を簡単に予約し、利用ができるよう環境を整えている。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となったが、例年は市民水泳大会やロードレース大会などの地域に根付いたスポーツイベントを開催し、市民がスポーツに参加する機会を設けている。 | | | | | | | 政策企画室 生涯学習スポーツ課 | |

基本目標Ⅴ 快適で過ごしやすく環境にやさしいまち (5) 住マイルわらび!暮らし快適プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 |
|-------------------|------------------------------|--|---|--------|-------|-------|----------------------|--------------|------------------|
| | 現状値 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | |
| | 三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により定住する子世帯数 | | — | 23世帯 | | | 80世帯 (令和2年度からの累計) | 建築課 | |
| ①快適で魅力ある都市基盤整備の推進 | K P I | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | | 錦町土地区画整理事業区域(85.1ha)内の整備面積 | 50.8ha | 54.0ha | | | | 56.0ha | 区画整理課 |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | 担当課 |
| | 具 体 的 事 業 | 三世代ふれあい家族住宅取得支援事業 | 平成27年10月に施行した葺市三世代ふれあい家族住宅取得補助金交付要綱について、令和元年11月に令和5年度末までに延長。令和2年度は23世帯に対して補助を行った。 | | | | | | 建築課 |
| | | 錦町土地区画整理事業の推進 | 令和2年度は、家屋移転21戸に加え、路線延長630.7mの街路築造工事や排水路整備工事等を実施。整備面積は、令和2年度に1.3haの整備を行った結果、令和2年度末では54.0haとなった。 | | | | | | 区画整理課 |
| | | 中央第一地区まちづくり事業の推進 | 道路等の地区公共施設の整備を進めており、令和2年度には、区画道路14号を一部拡幅整備し供用を開始した。地区公共施設用地については、令和2年度に2件・約123㎡取得し、令和2年度末時点の取得済面積を約1,104㎡とした。 | | | | | | まちづくり推進室 |
| 都市計画マスタープランの策定 | | 令和元年度に、関係各課へのヒアリングなどを踏まえ、都市づくりの目標及び都市整備分野別方針の案を作成後、都市計画審議会において、意見を聴取。令和2年度は、主に地域別方針について、市民の方との意見交換会や都市計画審議会を開催し、計画案のとりまとめを行ってきた。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、意見交換会の開催を延期したため、都市計画マスタープラン等の策定は令和3年度内を予定。 | | | | | | まちづくり推進室 | |
| ②循環型で環境にやさしいまちづくり | K P I | 指標 | 現状値 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目標値 令和6年度 | 担当課 |
| | | 花いっぱい運動を行う公園等の団体数 | 43団体 | 41団体 | | | | 46団体 | 安全安心推進課 道路公園課 |
| | | 事業名 | 取り組み内容 | | | | | | 担当課 |
| | 具 体 的 事 業 | 花いっぱいのまちづくり | 令和2年度は、リサイクルフラワーセンターで生育された花苗を公園の自主管理団体等に約26,000鉢配布した。また、例年実施しているエコキャップと花苗交換会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせた。 | | | | | | 安全安心推進課 道路公園課 |
| 道路照明灯等のLED化 | | 令和2年度にLED道路照明灯等の設置調査実施。令和3年度に道路照明灯1,084基、公園灯185基のLED化を実施予定。 | | | | | | 道路公園課 | |

基本目標VI 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち (6) わがまちわらび！市民が主役プロジェクト

| 数値目標 | 指標 | | 実績値 | | | | | 目標値 | 担当課 |
|------------------------------|-----------------------|--|-------------------|--|-------|-------|--------------|----------------|--|
| | 現状値 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | |
| | まちへの愛着（市民意識調査） | | 68.7% | 71.4% | | | 75% | 政策企画室 | |
| ①多様な主体との協働による、市民が主役のまちづくり | K P I | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 | |
| | | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| | | 蕨市協働事業提案制度への応募件数 | 26件（累計） | 48件（累計） | | | 52件（累計） | 市民活動推進室 | |
| | 具 体 的 事 業 | 事業名 | | 取り組み内容 | | | | | 担当課 |
| | | 協働事業提案制度の活用 | | 令和2年度については、実施予定（令和元年度採択分）の5事業が新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施を見合わせ、状況を考慮しながら令和3年度に延期して実施する予定となった。また、令和2年度中に「新型コロナウイルス感染症対策事業」を指定テーマとして、協働提案事業の募集を行い、6事業の応募があり、5事業を採択。令和2年度までの応募件数は、累計48件となり、そのうち、36事業が採択。 | | | | | 市民活動推進室 |
| | | 防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進 | | 令和2年度については、以下のとおり5件の協定を締結した。 PayPay株式会社と「キャッシュレス推進に関する包括連携協定」、株式会社ルネサンスと「蕨いきいきキッズプロジェクト」の実施に関する協定、京都大学（COI拠点研究推進機構）と株式会社ほっこりーのプラスとの連携協力に関する協定、埼玉県LPガス協会川口支部と災害時におけるLPガスの提供等に関する協定、株式会社イトーヨーカ堂と「災害時における物資供給に関する協定」 | | | | | 安全安心推進課 福祉総務課 介護保険室 関係課 |
| 協定自治体との連携推進 | | 「ふれあい交流協定」を締結している群馬県片品村で収穫された「わらびりんご」を使って、学校給食（鶏肉のわらびりんごソース）を提供した。また、片品村の道の駅に設置している蕨ブランドブースにおいて商品のPR・販売を行っているほか、同施設に双子織の暖簾を掲げていただくなど、地域資源の発信等を通じて連携を促進した。 | | | | | 関係課 | | |
| 男女共同参画の推進 | | 令和2年度も、引き続き、男女共同参画に関する啓発事業（男女共同参画作品募集事業、啓発パネル展、啓発紙「パートナー」の発行）を実施。講演会・セミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせた。 | | | | | 市民活動推進室 | | |
| ②AI等の新たな技術の活用と市民が親しみやすいまちづくり | K P I | 指標 | 現状値 | 実績値 | | | 目標値 | 担当課 | |
| | | | 平成29年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| | | AI等の新たな技術を活用した事業数 | ※新規事業のため現状値はありません | 1事業 | | | 2事業 | 政策企画室 情報管理室 | |
| | 具 体 的 事 業 | 事業名 | | 取り組み内容 | | | | | 担当課 |
| | | 多文化共生のまちづくりの推進 | | 令和2年度は、多文化共生指針策定に向け、日本人及び外国人に対して市民意識調査や庁内アンケートを実施した。また、多文化共生指針策定庁内連絡会及び多文化共生指針策定に係る市民懇談会を開催したほか、指針策定のための基礎資料の収集及び分析を行った。調査結果等を踏まえ、令和3年度中に指針策定予定。 | | | | | 市民活動推進室 関係課 |
| | | 市民が交流できる新庁舎と駅西口公共公益施設の整備 | | (新庁舎) ・令和2年4月に誰もが利用しやすい庁舎に向けたユニバーサルデザイン計画なども考慮した「新庁舎建設基本設計」を策定し、令和3年2月に「新庁舎建設実施設計概要」を策定。また、旧庁舎については、令和2年10月までに仮設庁舎等への移転を行い、12月に旧庁舎の解体工事に着手するなど、着実に新庁舎建設事業を進めた。 ・窓口案内表示システム等の導入については、関係各課と協議を重ね、利便性向上のためシステム業者にヒアリングを実施 (駅西口公共公益施設の整備) ・駅西口公共公益施設については、蕨駅西口地区市街地再開発事業における方針として、「図書館」及び「行政センター」の複合施設を整備することが平成30年11月に決定したことを踏まえ、運営形態の検討を進める中で、市内の公共施設において既に指定管理者制度での運営実績のある団体やシステムベンダー等に対してヒアリングを実施し、情報収集を行った。 | | | | | 政策企画室 庁舎建設室 市民課 まちづくり推進室 市立図書館 |
| 婚活事業への支援 | | AIによるマッチングや相談員による婚活支援を受けることができる「SAITAMA出会いサポートセンター」について、蕨市民が利用料金の減免を受けることができるよう、令和2年4月に蕨市として会員登録を行うなど利用促進に向けた支援を行った。なお、令和2年末の蕨市民の会員登録者数は、男性40人、女性16人、計56人。 | | | | | 政策企画室 関係課 | | |